

田辺市本宮町でこれまで実施された温泉療法の講習会



クアオルトとはドイツ語で「健康保養地の意味。自然を生かす」という意味。熊野で健康ラボが5年前に気候性地形療法に着目。ドイツでの研修をはじめ、本宮町で専門家による講習会を開催したり、モニターツアーを実施したりして効果の検証や普及啓発に努めてきた。温泉に加え熊野古道をウォーキングコースに設定、森林浴

### 上山市(山形)、由布市(大分)と

田辺市は温泉を健康保養の側面から研究し、温泉と気候性地形療法の保養地として確立させようと、「かみのやま温泉」のある山形県上山市、「由布院温泉」のある大分県由布市と連携し、調査研究組織「日本温泉クアオルト研究会(仮称)」を設立する。温泉を軸にした健康増進メニューを開発しているそれぞれの市がノウハウを共有し、滞在型観光促進に効果を上げる。

# 田辺市 温泉保養で3市連携 調査研究組織を設立



発行所 紀伊民報社  
和歌山県田辺市秋津町  
100番地 〒646-8660  
電話・0739(22)7171(代)  
営業FAX・0739(25)0077  
編集FAX・0739(25)3094  
振替口座・00830-2-21977

和歌山支局  
電話 073(428)7171  
南部支局  
電話 0739(72)1717  
中本支局  
電話 0735(62)7171  
新宮通信部  
電話 0735(31)7174

5月8日(日)母の日  
お母さんに贈りたい  
ギフト  
お取り揃えしております

母の日  
ギフト  
ミッシェル・ミセスの  
服とアクセサリー  
ファッション・ド  
コア

田辺市北新町6番地  
Tel.22-0250  
北新町コア

今日のニュース

8面カラー	「紀伊文化」
9面カラー	「GWグラフ」
10面カラー	「郷土の灯」
11面	「声」読者の欄
四季彩	最終面カラー 「高野山の桜」 高野町で

やストレッチを組み入れ複合的なメニューを実施してき

蔵王連峰がある上山市では、ドイツの大学教授監修のウォーキングコースを設定したり、専門知識があるガイドを置いたりしている。由布市では温泉療法を体験できる市営のクアハウスを設けるなど、地域を挙げて推進に取り組んでいる。両市と田辺市は視察研修で交流しており、今回買の高気圧健康保養地を目指す」と連携した。

研究会の設立総会と第1回会合を9日午後、東京都千代田区の都道府県会館で開く。

3市長が出席して各地の取り組みを紹介する。シンポジウムを開くなどし、他の自治体にクアオルト構想への参画を呼び掛ける予定。

研究会ではすでに、3市の取り組みを「日本型温泉クアオルト」と総称し、健康保養地としての活動を紹介するパンフレットを作成している。

研究会では、健康を主眼に置いた資源の発掘や人材育成で協力する方針。熊野で健康ラボでは「地域づくりを進める中で健康保養地をキーワードに、温泉やリラクゼーション、地元のを発信したい。今後は新たに、温泉を利

用した水中運動プログラムを展開していきたい」と話している。



記者発表する（左から）敷地弘規・田辺市観光振興課長、健康ラボの須川亜紀さん、木下藤寿所長、山本幾生・本宮行政局長、鳥居泰治・熊野本宮館次長＝6日、田辺市の熊野本宮館

# 世界に通用する観光地へ

## 3市連携の健康保養地づくり目指す

田辺市本宮町

財団法人和歌山健康センターと田辺市は6日、田辺市本宮町の熊野本宮館で、同町内の温泉を活用して「クアオルト」という健康保養地づくりを進めると発表した。9日に東京で、同様の取り組みをする大分県田布市、山形県上山市と連携、観光庁の支援を受けて「日本温泉クアオルト研究会（仮称）」を発足し、「温泉を中心とし、健康や保養を目的とした質の高い滞在環境のクアオルト」づくりを目指す。

クアオルトはドイツ語で健康保養地の意味。湯治や転地療法が医学的に高度に発展したもので、温泉、気候、地形など自然の資源を生かし、人間にもともと備わる治癒力を刺激して治療する。同センターは平成18年に、同町を拠点に世界遺産・熊野で健康づくりを通じた交流を積極的にすすめる「熊野で健康ラボ」を設置。ウオーキングを中心とした滞在型プログラムを実施してきた。こ

指定管理者となり、温泉プールを利用した水中プログラムもできるようになったため、セラピストを養成し、早ければ今夏には提供を開始したいとしている。

同ラボの木下藤寿所長は「旅行形態は変化しつつ

つある。素晴らしいハード（自然環境）を生かし、これまでの健康増進だけでなく、一歩進んだ治癒プログラムを提供できる質の高いソフト、日本型

クアオルトを作りたい」と話した。

田辺市の真砂充敏市長は「世界遺産登録された熊野古道や温泉など、聖地『熊野』の自然が織り成す不思議なパワーやそこに住む人々のもてなし、価値ある地域資源を最大限に活用し、地形療法による健康保養（日本版クアオルト）発祥の地としてふさわしいヘルスツーリズムの先進地を目指したい」とコメントした。

# 健康保養地づくり目指す

## 「日本温泉クアオルト研究会」発足



研究会立ち上げの経緯を説明する木下さん(中央右)

田辺市本宮町を拠点に、熊野古道ウオークによる健康づくりに取り組んでいる財団法人和歌山県健康センターと田辺市は6日、温泉と熊野古道を活用した滞在型の健康保養地「クアオルト」づくりに取り組むことを発表しました。同様の研究を続けている大分県由布市と山形県上山市と共同で「日本温泉クアオルト研究会(仮称)」を立ち上げ、観光庁の支援のもと、質の高い滞在環境である「クアオルト」の日本への普及・拡大に努める。

「クア」は「治療(療)クアオルト」が点在する。「クア」は「治療(療)クアオルト」が点在する。「クア」は「治療(療)クアオルト」が点在する。「クア」は「治療(療)クアオルト」が点在する。

### 田辺市など連携、温泉と古道を活用

田辺市本宮町の世界遺産熊野本宮館で6日に開かれた同研究会発足式説明会では、同市本宮町行政局長・山本幾生さんや同市産業部観光振興課長・敷地弘規さん、同センター「熊野で健康ラボ」所長・木下藤寿さんなどが出席。これまでの活動や研究会立ち上げの経緯を説明した。

木下さんは「3市が連携することで、より質の高い健康保養地づくりができる。このラボで培った温泉や川、森などを使ったウオーキングなどのプログラムをベースに、温泉を使った水中運動プログラムを新たに取り入れる一歩を話した。クアハウス熊野本宮を拠点として、夏には水中運動プログラムを商

品として提供できるとい

真砂充敏田辺市長は「熊野古道や温泉など、癒やしと蘇(よみがえ)りの聖地『熊野』の自然

が織り成す不思議なパワーやそこに住む人々のもてなし、それらの価値ある地域資源を最大限に活用し、地形療法による健康保養(日本版クアオルト)の発祥の地としてふさわしいヘルスツーリズムの先進地を目指したい」とコメントした。



発行所 紀南新聞社  
〒647-0943  
新宮市緑ヶ丘2丁目1番33号  
郵便番号00960-8-123219  
編集部  
TEL0735-22-2803  
FAX0735-23-1873  
営業部  
ゼロストーリー事業部  
TEL0735-22-2553  
FAX0735-23-0032  
勝浦支社  
〒649-5326  
尾道勝浦町築地7丁目3番11号  
TEL0735-52-8030  
FAX0735-52-8040



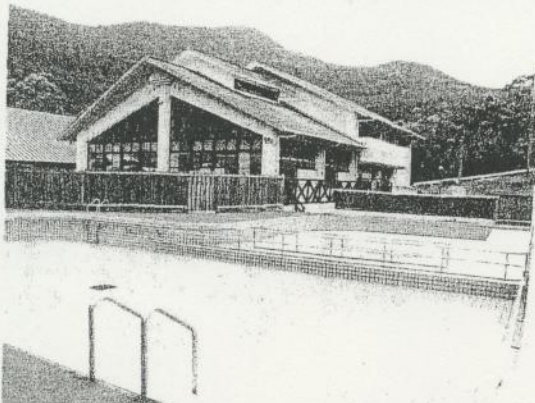
KUBO  
PHOTO STUDIO  
久保写真館  
〒647-0019 新宮市新町3丁目32-11  
TEL0735-22-5167  
FAX0735-21-6939

#### 今日の紙面

- ◇卓球大会で細畑さん
- ◇原発事故でミカン輸出
- ◇地元のお出かけ情報
- ◇佐藤春夫と谷崎潤一郎
- ◇和歌山陸上カーニバル

# ドイツ型保養地 田辺に

## 古道ウオーク+温泉水中運動治療



プールなどを備え、水中治療などが行われる「クアハウス熊野本宮」(田辺市本宮町で)

### 「クアオルト」計画 夏にもプログラム

田辺市本宮町を拠点に、熊野古道ウオークによる健康づくりに取り組んでいる財団法人「和歌山健康センター」と田辺市は6日、新たに温泉を活用して、「クアオルト」と呼ばれる滞在型健康保養地づくりに乗り出すことを明らかにした。同様の取り組みを進めている山形県上山市、大分県由布市とともに、「日本温泉クアオルト研究会(仮称)」を設立し、国の支援も受けて、国内での普及を進める。

(田山一郎)

クアは「治療(療養)」、オルトは「地域」を意味するドイツ語。クアオルトは良好な気候や、山や川、海温泉などの自然資源を活用し、滞在しながら様々な病気の治療、療養を行うもので、ドイツには300以上

**クアオルト**  
美顔教室 絵水  
426-2777

あり、年金や健康保険を利用できるという。同センターは2006年、熊野を癒やしと健康の舞台とする県の「熊野健康村構想」に基づき、本宮町内に「熊野で健康ラボ」を開設。川湯、湯の峰、渡瀬

の温泉郷に宿泊しながら古道を歩き、自然と触れ合うことで健康を増進させるプログラムを提案し、セラピスト2人を配置して約9000人を受け入れてきた。

一方、同町内には、市立温泉施設「クアハウス熊野本宮」があり、屋内外の温泉プールや10棟のバンガロー、オートキャンプ場などを備えている。今年4月から、同ラボが指定管理者となり、温泉プールを活用した水中運動治療も可能となっており、健康センターが養成したセラピストら510人を充て、今夏にも水中治療プログラムの提供を始める。

蔵王連峰に囲まれた上山市や由布院温泉で知られる由布市とは、ドイツへの視察研修に同行したことで交流が始まり、9日に、東京で研究会を設立することになった。連携してクアオルトの認知度を高めるほか、プログラム研究などで質の向上も目指す。

同ラボの木下藤寿所長は「これまでの誰に対しても提供できる健康づくりだけでなく、より専門性の高い治療や療養を提供できるシステムにしたい」と話し、「ば」と期待している。

敷地弘規・田辺市観光振興課長は観光客だけでなく地元市民の健康作りにも活用したい。将来は、海も活用したクアオルトになれば」と期待している。

大分・由布市、山形・上市市と連携

## 温泉資源を活用し 健康保養地づくり

市が研究会設立

5/2(木)  
5/4(日)

た。地域資源を活用し、  
中長期滞在型の保養地  
づくりを目指す。

「クア」は治療を意味するドイツ語で、「クアオルト」は治療を行う地域を指す。田辺市によると、ドイツには温泉や森林、高山気候などそれぞれ地域の特性を生かしたクアオルトが数百カ所あるという。

田辺市は9日、大分県由布市、山形県上市市と連携して、「温泉クアオルト（健康保養地）研究会」を設立し

由布市は温泉プールを利用した水中運動、上市市は準高地を利用した気候性地形療法ウォーキングコース、田辺市は本宮町を中心に熊野古道、温泉の活用などが取り組みの柱になる。

【吉野茂毅】

## 田辺市「クアオルト研究会」発足へ

田辺市は6日、大分県由布市、山形県上市市と連携し、地域資源や温泉などを活用した滞在型の健康保養地(クアオルト)づくりを推進するため、「日本温泉クアオルト研究会」(仮称)を9日に東京で発足させると発表した。

クアオルトとはドイツ語で、3市の関係者がドイツでの研修会に出席した際、連携した健康保養地づくりを目指そうと、観光庁のバックアップも得て研究会を発足させることを決めた。

3市は別府温泉に近く人気の温泉地である由布院温泉、蔵王連峰の麓にあるかみのやま温泉、それに熊野古道沿いの本宮町の川湯、湯の峰温泉とそれぞれ温泉が売り物で、地域資源にも恵まれている。今後、質の高い健康保養地であるクアオルトの普及に向け、温泉を利用した健康や治療などの連携プログラム開発や連携誘客、商品開発と物産交流、セラピストなどの人材育成などを展開していく。

研究会発足式では、3市長や観光庁職員のほか、研究会への参加を呼びかけている山形県の天童温泉や銀山温泉、福島県の岳温泉、島根県の温泉津温泉などの関係者らが出席。名称を正式に決定し、田辺市の真砂充敏市長が「クアオルト宣言」を読み上げる。